

序章

「自明なるもの」を問い返すこと

竹井恵美子……………9

本書の構成と意図／分離と排除の原理／つくられる「性差」／
表現されるジェンダー

第I部

食とジェンダーの諸相

人類学・民俗学の視点から

第1章

狩猟採集社会における食とジェンダー

今村 薫……………20

——性的分業と食物規制を中心に

はじめに……………20

I 食料獲得労働における性的分業……………23

狩猟と採集／分業起源説／性的分業は絶対か／
解体および料理／食物分配と公私

II 通過儀礼と食物回避……………35

年齢段階に応じた動物食／老人の肉／初潮儀礼中の肉食回避／
乳幼児をもつ両親の肉食回避／成人儀礼／食物回避における男女差

III 近代化と食とジェンダー……………39

第2章

「悪い魚」と「真の魚」

野林厚志……………46

——台湾ヤミの魚食における食物規制

はじめに……………46

I ヤミの食事……………47

II ヤミ……………49

III ヤミの性的分業……………50

生業カレンダー／性的分業がおりなす男女の関係

IV 「悪い魚」と「真の魚」……………56

魚を食べ分けること／トビウオとシイラをめぐる男女の思い／「悪い魚」である理由
むすび……………61

第3章

韓国の食事の場にみられる

朝倉敏夫……………64

老若・男女の空間分離

はじめに——フィールドワークと食事……………64

I フィールドワーカーの描いた食事風景……………66

II 伝統的な居住空間におけるネエ(内)とウエ(外)……………72

III 都市の集合住宅と食事空間……………75

第4章

近代村落社会における調理担当者

竹内由紀子……………82

序——男性の調理 82

I 女性の排除と女性のケガレ 86

「女性IIケガレ」イデオロギーの位相／調理の場面と女性のケガレ

II 宴会の調理担当者に作用するジェンダー 91

素人料理人に期待されるもの／女性の共同調理にみる権威の構造／

調理と男性の能力

III 日常の食事にみるジェンダー 100

結——調理担当者研究の課題 105

第II部

食の現在

ジェンダーの軛くびきを解く

第1章

嗜好に生理的性差はあるか

山本 茂……………

I 嗜好の性差 112

II 年齢による嗜好の変化 115

III エネルギー必要量の性差 117

IV タンパク質摂取量の性差 120

V 脂質摂取量の男女差 121

VI 甘いものとアルコールの共通点 122

VII 味の脳へのすりこみ現象(インプリンティング) 123

VIII 変動可能な生理機能 124

IX 嗜好の遺伝的支配と後天的な支配 125

X 脳の機能は環境で変わる 126

まとめ 127

第2章

「男と料理」を女の側からみると

村上紀子……………128

はじめに 128

I 「趣味」の料理 129

「台所の自分」を公に語りはじめた、七〇年代／「厨房は身分の低い者にまかせよ」

男性料理の「楽しさ」どころ

II 「自立」の料理 134

注目されだす「单身男性」の食／青年、壮年のサバイバル技術／

七〇歳を超えて厨房に立つ男性たち／高齢社会は食環境の整備を

III 「家族」の料理 141

「主夫」の登場／主夫たちの料理報告／「食のマネージ」という責任／
主夫たちが出した結論は

IV はたして、家族の食の担当は誰に？ 146

実態は、どこまで変わったか／家の内と外「相互乗り入れ」と「効率」／
食の「ジェンダー分業」のゆくえ

第3章

メディアのなかの「食とジェンダー」

吉田清彦……………152

——テレビコマーシャルを中心に

はじめに 152

ジェンダー意識に及ぼすマスメディアの影響力／テレビの力／CMの力／
「コマーシャルの中の男女役割を問い直す会」について

I テレビCMのなかの「食のシーン」にみられるジェンダー(1)
八四～九四年 158

「女、つくる人。男、食べる人」CM／「皿を洗う男」CM／

「趣味としての男の料理」CM／「いいわけしながらする家事としての男の料理」CM／
女からの「愛情ある突き放し」宣言CM／

「すすんでする」家事としての男の料理」CM／「懐古CM」の流行／

「個食」CM／「手だけ」CM／「フード・ポルノ」CM

II マスメディアとジェンダー——描かれ方の変遷と時代背景 169

世界女性会議と世界行動計画／国内行動計画の策定／男女共同参画社会の到来／
フェミニズムの台頭とメディア・ウォッチ・グループの輩出

III テレビCMのなかの「食のシーン」にみられるジェンダー(2)
九九年／二〇〇〇年 172

男女共同参画社会基本法の成立とテレビCM／CMを終日、自動録画／
「食のシーン」のなかの男と女

おわりに 175

第4章

食べもの・女性・身体

——拒食・過食からみえてくる女と食の

見崎恵子……………179

ぬきさしならない関係

はじめに 179

I 摂食障害と女性 180

飽食社会の「女の病」／摂食障害の「原因」をめぐって

II 「細い身体」の政治 184

肥る恐怖／「豊かな身体」から「細い身体」へ／「女らしさの神話」から「美の神話」へ

III 「食べない身体」 188

食を断つ／たくさん食べない女／食を提供する役割と食べること／
食べられ欲される身体

IV 「愛」を食べる 194

「食べもの＝愛情」神話／摂食障害が「愛」で語られるとき／食べものの過剰な「味」
おわりに 198

総括

食にあらわれるジェンダー

—— 変わりゆく構造とそのゆくえ

竹井恵美子……………205

I 食のなかのジェンダーを問うこと 205

II 食物と味覚のジェンダー 208

III 夫婦茶碗——食器に投影されるジェンダー 212

IV 家事としての料理とジェンダー 217

V 儀礼のなかの食——沖縄多良間島の事例から 221

おわりに 228

あとがき

執筆者紹介 240

装幀 市川美野里